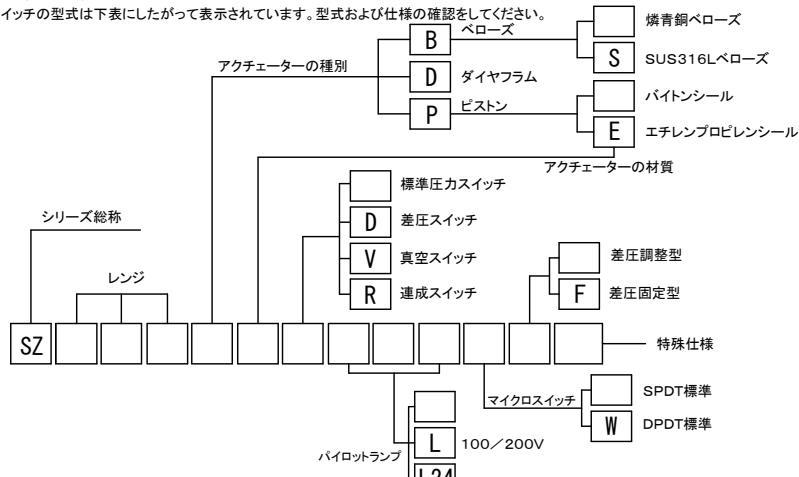


(1) 型式・仕様の確認

SZ圧カスイッチの型式は下表にしたがって表示されています。型式および仕様を確認してください。



⚠ この圧カスイッチは耐圧防爆型ではありません。

レンジ：要求設定圧力がレンジの範囲に入っているかどうか確認してください。レンジ調整範囲は、圧力下降時の動作圧力で表示しています。

差圧調整範囲：要求設定圧力の上下限の幅が差圧調整範囲に入っているかどうか確認してください。

定格圧力：ベローズ型は、システム圧力（常用圧力）が定格圧力を超えないようにご使用ください。特に要求設定値が上限または下限に接近している場合は定格圧力を再確認してください。

耐圧力：耐圧力は、性能の低下をすることなく一定時間印加できる試験圧力です。常時またはくり返し頻繁に印加できる圧力ではありません。サージ圧や脈動のような瞬間的な圧力でも耐圧力を超える圧力が印加されるとベローズの寿命は著しく低下します。したがって、特にベローズ型を油圧回路に使用する場合は、サージ圧や脈動対策を施し、十分な耐圧の型式を選定するようにしてください。



レンジ (RANGE)、差圧調整範囲 (DIFF'L)、耐圧力 (MAX. ALLOW. PRESSURE) は銘板に記載されています。

(2) 取付

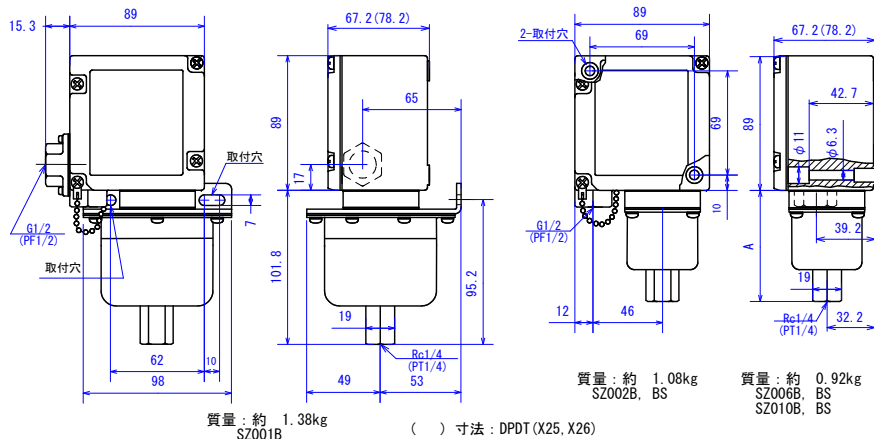


SZ圧カスイッチは本体をニカ所の取付穴で固定してください。圧力配管だけで支持することはできません。SZ001Bはブラケットで固定してください。

(3) 配管



SZ圧カスイッチの圧力配管ポートはRc1/4 (PT1/4)です。配管する場合は受圧部の六角部にスパナ掛けをして圧カスイッチの受圧部や本体に力が加わらないようにしてください。



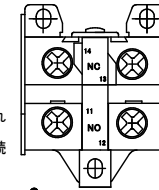
(4) 配線

SPDTマイクロスイッチ

DPDTマイクロスイッチ

1 3 : 1 4 --- N.C.  
1 1 : 1 2 --- N.O.

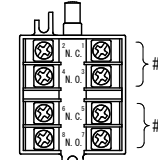
N.O. と N.C. は電氣的に絶縁され独立していますが 1 1 : 1 4 または 1 3 : 1 2 を同様に接続して下さい。



⚠ 必ずボディーアースをとってください。

DPDTマイクロスイッチの接点構成は下図のようにマイクロスイッチに表示されています。

配線用特殊圧着端子”ニチフ F T-1-3” 8ヶを付属品として同封しています。圧着工具は下記のものをお使いください。ニチフ NH-20 (旗型圧着端子用) #1と#2は電氣的に完全に独立していますが、同列側は同様に配線してください。



型式の末尾に-X25、-X27、-X28の付くタイプは同封の配線方法により配線してください。

(5) 圧力設定

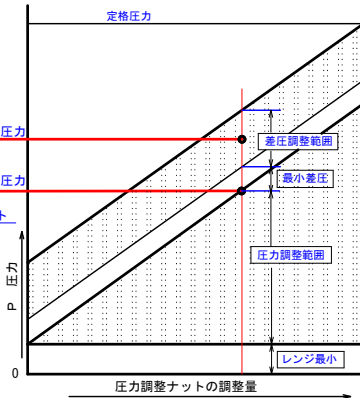
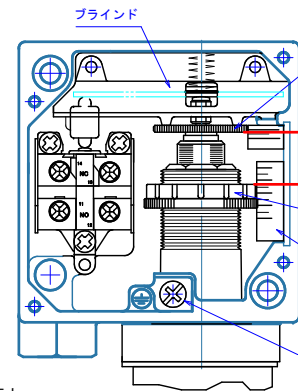
SZ圧カスイッチは一定圧力に設定して出荷されています。圧力設定値は本体側面の設定ラベルに表示してあります。現在の動作圧力を設定ラベルで確認して、次のように要求設定値に再設定してください。

本図はSPDTタイプを表しています。DPDTタイプも調整方法は同じです。



電源が接続されている場合は端子に絶対触れないようにしてください。

ブラインドは絶対はずさないでください。圧力調整ナット、差圧調整ねじ以外は触らないでください。



1. 圧力下降時動作圧力

要求設定値の圧力下降時動作圧力を圧力調整ナットで設定します。圧力調整ナットの上面のレンジスケールの指示する値が下限動作圧力の目安です。

ご注意

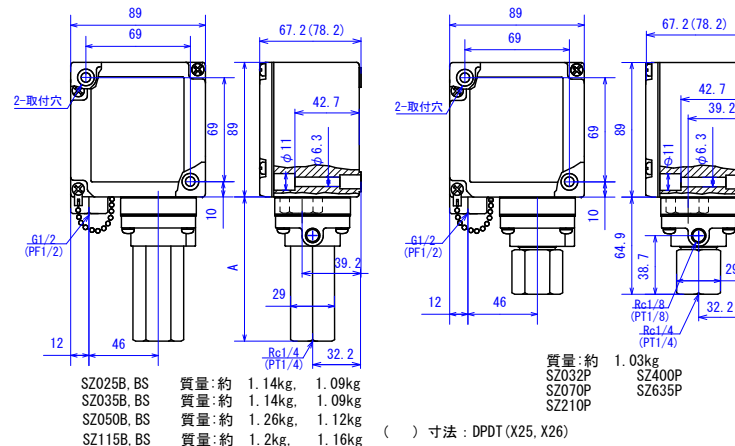
圧力調整ナットはスロットにマイナスドライバーを差し込んで回します。スロットの幅に合ったドライバーを使用し、スロットを痛めないようにしてください。

2. 圧力上昇時動作圧力

要求設定値の圧力上昇時の動作圧力を差圧調整ねじで設定します。差圧調整ねじは指で回します。板バネでセルフロックされていて緩みません。緩めすぎ防止の爪が付いています。緩めすぎないようにしてください。

3. 差圧固定型 (型式記号: F)

差圧固定型は差圧調整できません。上限または下限動作圧力のどちらか一方を決め、圧力調整ナットで設定します。



ドレン配管  
ピストンタイプはシールドピストン方式ですから、通常ドレン配管は不要ですが一定期間使用するとしみ出し程度の流体の浸出が発生する場合があります。微量の流体の浸出も許容されない環境においてはあらかじめドレン配管をしてご使用ください。  
ドレン配管はRc1/8 (PT1/8)、許容背圧は0.1MPaです。できるだけ大気圧に開放してください。

質量: 約 1.03kg  
SZ032P  
SZ070P  
SZ210P

( ) 寸法: DPDT (X25, X26)

(6) マイクロスイッチの電気定格

SPDT標準容量

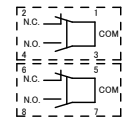
1 本表の数値は定常電流を示しています。 2 誘導負荷:力率 0.4以上、直流時定数7ms以下 3 ランプ負荷:10倍の突入電流を有するものとします。 4 電動機負荷:6倍の突入電流を有するものとします。		銘板上の容量表示 ELECTRICAL CONTACT RATINGS 10A-125/250 or 500V A.C. 0.8A-125V D.C. 0.4A-250V D.C.							
接点構成 SPDT	電圧 V	抵抗負荷		ランプ負荷		誘導負荷		電動機負荷	
		N.C.	N.O.	N.C.	N.O.	N.C.	N.O.	N.C.	N.O.
	AC 125	10A	10A	3A	1.5A	10A	5A	2.5A	
	250	10	10	2	1	10	3	1.5	
	500	10	10	1.5	0.8	3	1.5	0.8	
	DC 8	10	6A	3A	10A	6A			
	14	10	6	3	10	6			
	30	6	4	3	6	4			
	125	0.8	0.2	0.2	0.8	0.2			
	250	0.4	0.1	0.1	0.4	0.1			

必ずアース端子を接地してご使用ください。  
感電する危険があります。

DPDT標準容量

1 本表の数値は定常電流を示しています。 2 誘導負荷:力率 0.4以上、直流時定数7ms以下 3 ランプ負荷:10倍の突入電流を有するものとします。 4 電動機負荷:6倍の突入電流を有するものとします。		銘板上の容量表示 ELECTRICAL CONTACT RATINGS AC 125V-5A, 250V-3A DC 125V-0.4A, 250V-0.2A		接点構成 - X 2 5 - X 2 7 - X 2 8					
接点構成 DPDT	電圧 V	抵抗負荷		ランプ負荷		誘導負荷		電動機負荷	
		N.C.	N.O.	N.C.	N.O.	N.C.	N.O.	N.C.	N.O.
	AC 125	5A	2A	4A	3A				
	250	3	1	2	1.5				
	480	1.5	0.5	1	0.8				
	600	1	0.4	0.7	0.5				
	DC 8	-	-	-	-				
	14	5	2	4	3				
	30	3.4	1	2	1.5				
	125	0.4	0.1	0.4	0.1				
	250	0.2	0.05	0.2	0.05				

右側コモンを形成してあります。

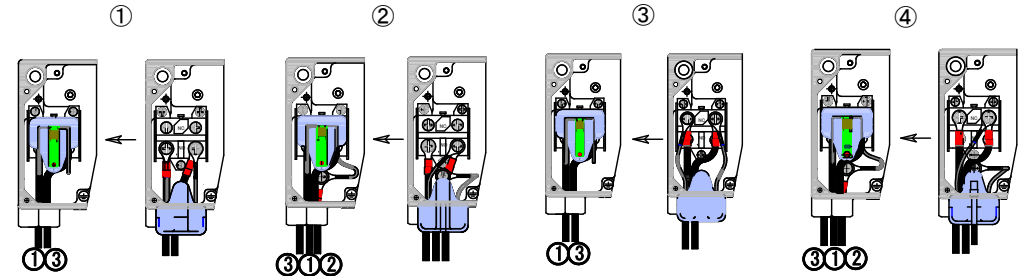
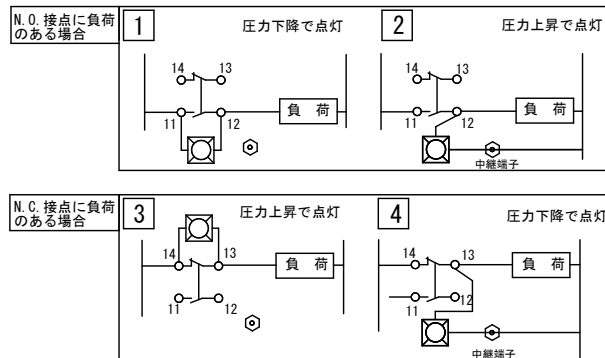


(7) パイロットランプ(型式記号:L, L24)

型式記号のL, L24についている機種には、パイロットランプアセンブリと中継用ターミナルが付属品として付いています。Lは100/200V用、L24は24V用(定格電圧30V)です。L24には整流スタックを内蔵してありますので極性に関係なく点灯します。下図にしたがって配線してください。

ランプアセンブリを表します。

ランプ点灯時の通電電流  
L: 100V時 約0.5mA  
200V時 約1.6mA  
L24: 24V時 約2.3mA



(8) 使用条件・その他の性能

使用周囲温度: -20~+80°C (ただし氷結しないこと。)  
接液部許容温度: 焼青銅ペローズ: -40~+125°C (ただし氷結しないこと。)  
SUS316ステンレスペローズ: -40~+250°C (ただし氷結しないこと。)  
ピストンアクチュエーター: -20~+120°C (ただし氷結しないこと。)  
許容動作頻度: 120回/分  
絶縁抵抗: 非連続端子間および各端子と非充電金属部間  
100M以上 (DC5000メガーにて)  
耐電圧: 非連続端子間 AC1000V 50/60Hz 1分間  
各端子と非充電金属部間、アース間 AC2200V 50/60Hz 1分間  
受圧部オリフィス: ペローズアクチュエーター: 1.5φ  
ピストンアクチュエーター: 1φ  
保護等級: IP65

太平洋貿易株式会社

本社: 〒103-0023東京都中央区日本橋本町2-2-2  
TEL03-3270-4821 FAX03-3245-1767  
名古屋支店: 〒460-0008名古屋市中区栄4-15-32 日建・住生ビル  
TEL052-261-5571 FAX052-261-2017  
大阪支店: 〒530-0037大阪市北区松ヶ枝町1-3 サンセンタービル  
TEL06-6355-2701 FAX06-6355-2706  
福山営業所: 〒720-0067福山市西町2-10-1 福山商工会議所ビル  
TEL084-925-3067 FAX084-931-9331  
九州営業所: 〒802-0005北九州市小倉北区堺町1-1-1JT小倉ビル  
TEL093-511-2802 FAX093-511-5904

製造 太平洋システム工業株式会社